

# 檜洞丸山行記録

記:鳥切昇治



檜洞丸山頂から富士山

期 日:2022年5月29日(日) 天候:快晴

山 域:丹沢 檜洞丸(1601m)

メンバー:鳥切昇治(82歳)単独

行動記録

コースタイム

自宅 3:58—5:14 西丹沢ビジターセンター6:25—ツツジ新道入口 6:32—7:10 ゴーラ沢  
出合一展望台 8:00—9:04 稜線の分岐—9:20 檜洞丸 9:28—テシノ頭 10:08—10:18  
昼食地 10:40—石棚山 10:58—12:58 箒沢公園橋—12:52 箒沢山の家 13:10—15:35  
自宅

西丹沢ビジターセンターの駐車場は満車だったので、箒沢山を家の駐車場に駐車する。  
(駐車料金:1000円)

西丹沢ビジターセンターに立ち寄り、登山届をポストに入れる。ここのトイレはウォッシュレットになっていた。

通常ルートつつじ新道を登る。足が重いのでゆっくりしたペースで歩く。ゴーラ沢出合に出ると沢の水量が多い。ドボンしないよう慎重に渡る。展望台に向う途中のベンチで小休止。子供達を連れた7～8人のパーティが休んでいて賑やかだ。水分補給



ゴーラ沢出合は水量が多かった

して出発。展望台からは雪が少ない富士山が望めた。

つつじ新道上部まで登ると白ヤシオつつじの花が道にいっぱい落ちている。上を見上げると青空をバックに盛りを過ぎた白ヤシオが見える。林の中にアカヤシオも咲いているが数が少ない。



展望台から富士山

石棚山方面へ分岐する稜線に出た。いつも見事に咲いている白ヤシオつつじは今年も見事に咲いていた。檜洞丸に向かって登る。ヤシオつつじは咲いているが少ない。今年も外れだったようだ。



赤ヤシオつつじ



白ヤシオつつじ

でも振り返って見える富士山は青空にくっきりと見えた。

檜洞丸山頂の登山者は少なく静かである。山頂の赤ヤシオも咲いていない。写真を撮ってから石棚山方面に向う。新緑のブナ林の中をのんびり歩く。

1ピッチほど歩いていつも昼食をとるベンチに到着。今年もやって来たよとベンチに座り、昼食にする。時折登山者が通るが、ブナ林の新緑と静けさに癒される。



何時ものベンチでランチタイム

突然ホトギスの鳴き声に驚かされる。昼食後、下山にかかる。ヤブ沢ノ頭まで上り下りがあるが、ここから急坂をひたすら下る。時折登山者が登って来るが、よくこの道を登って来るな...と感心してしまう。俺には無理だと。

ブナ林から林相が変わって来て、沢音が大きくなると、間もなく板小屋沢に出る。緩やかな沢沿いの道を下り、堰堤の脇の鉄梯子を下って沢を渡る。杉林の中を下ると大石キャンプ場に出る。箒沢公園橋を渡り、駐車している箒沢山の家まで歩く。

恒例となった「ヤシオツツジを見に檜洞丸登山」は、82才になった今年も無事に登ることが出来て良かった。



檜洞丸山頂で



ブナ林の中を歩く

以上